

別紙様式（第7条関係）

平成 23 年 11 月 25 日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 橋本 清

島田市議会議員 仲田 裕子

島田市議会議員 星野 哲也

島田市議会議員 佐野 義晴

島田市議会議員 松本 敏

島田市議会議員 坂下 修

島田市議会議員 杉村 要星

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

1 日時 平成 23 年 11 月 19 日（土）

午前 19時 00 分から 午前 21時 00 分まで
午後 午後

2 会場 初倉「くらら」

3 参加者数 29 人（男性 27 人、女性 2 人）

4 役割

(1) 受付… 仲田・星野

(2) 司会… 杉村

(3) 挨拶・概要説明… 橋本

(4) 報告… 星野・松本・仲田

(5) 答弁…全員

(6) 記録…佐野

報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

○総務消防常任委員会 星野哲也

H22 年度一般会計決算認定

賦課徴収費（滞納状況）

補正予算

まちなか集積医療基本構想策定事業

産学官連携プロジェクト推進事業

放射能線量計購入について

○民政病院教育常任委員会 松本 敏

H22 年度一般会計決算認定

学校給食費（北部学校給食センターの老朽化対策）

国民健康保険事業特別会計決算認定（医療費はなぜ増えたか）

病院事業会計決算認定

補正予算

保険衛生総務費

安定ヨウ素剤の購入について（145,000 錠・44,000 人分）

教育振興費（学校図書充実）

介護保険事業費（H24 年度から新たな計画が始まる・基金のあり方）

○経済建設文化常任委員会 仲田裕子

H22 年度一般会計決算認定

農林業費（農業経営複合化支援事業の成果について）

商工費（島田駅付近の飲食店マップ作成について）

歳入（スポーツ振興くじ助成金の活用）

補正予算

放射性物資検査の補助経費（お茶への活用事例）

川根温泉宿泊施設建設事業（賛否の過程説明）

工事請負契約（中心市街地交流拠点の入札について）

中心市街地交流拠点施設工事の現況報告（予定した業者の撤退）

(2) 意見及び情報の交換について

防災関係

- ・ 原発事故を踏まえた意見、続出。
島田市の最優先課題として、原発を真剣に議論すべきだ。（即停止）
議会として、原発事故後の対応について、情報発信が無さすぎる。
- ・ 安定ヨウ素剤の使い方を市民に知らせるべきだ。
- ・ 防災上の観点から想定外を想定した避難訓練も必要だ。
- ・ 市は防災対策を真剣に考えているか。
- ・ 同報無線の音声聞こえない、昔の有線放送の方が分かり易い。
- ・ 議員は避難場所の運営に携わるべきだ。
- ・ 災害時、一般的に避難場所として学校を特定するが、状況にあった場所の設置対応ができないか。（学校が低地の場合がある）

病院建設問題

- ・ 病院を新設した場合、将来の財政負担が心配だ。
- ・ 今の病院を活かすことはできないか。
- ・ ジャスコの跡地の係争問題はどうなっているか。
- ・ 街中に病院が移転した場合、街が混雑する。その対応としての道路等の増設等のための余裕地はない。

政策事業への提案・疑問

- ・ 川根温泉に付設するホテルの事業経過、財政問題にどのような論議がされたか。
（財政負担を考え、事業内容に異議を訴えた内容）
- ・ 谷口橋の安全確保の現況はどうなっているか。安全性は大丈夫か。
- ・ 空港の多目的施設の方向性はどうなっているか。財政難から、今の時代にそぐわない。

- ・これまでの経緯から、公表されるデータの甘さを追求する声があった。（事例として空港問題）

市長及び議会に対して

- ・市長の政策は人より経済を優先した施策が多いが、市民が安心して安全で暮らせる手立てを講じて貰いたい。
- ・原発の将来に対して、市長の考え方は拙速で、煙に巻いた見解に不満を感じる。
- ・市長は市政運営に公平に努めるべきだ。
- ・市長は審議会等を開いても、それを無視することがある。
- ・議会としての機能を果たしていない。
- ・議会は市政運営に目を光らせるべきだ。

(3) まとめ

- ・地域性として、原発事故に対する不安と対応に意見が集中した。
- ・原発事故の今後について、市及び議会の対応は手ぬるい、国、県に対して情報を発するべきとする意見が多かった。
- ・将来の財政問題に関心度が高かった。